

【産婦人科】

I. プログラム責任者 齋藤 元章

II. 臨床研修到達目標（4週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医に必要とされる、

- 1) 女性特有のプライマリケアを研修する。
- 2) 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。
- 3) 女性特有の疾患による救急医療を経験する。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

1) 産科関係

- (1) 母体、胎児、胎児付属物、産褥、新生児の生理の基本を理解する。
- (2) 産科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。

② 産科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

(3) 産科の検査

産科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。

① 妊娠検査

免疫学的妊娠反応

② 超音波検査

③ 分娩監視検査

(4) 産科の治療法および分娩管理を理解し実施することができる。

① 妊産褥婦に対する薬物療法

妊産褥婦に対する薬物療法について理解し実施できる。

② 分娩管理

分娩管理法について理解し、正常分娩の管理を経験する。

③ 産科手術療法および周術期管理

産科手術法、周術期管理、産科麻酔法について理解する。

(5) 産科救急疾患について、理解し適切なプライマリケアができる。

① 妊娠初期の出血・腹痛（含む、子宮外妊娠）

- ② 妊娠中・後期の出血・腹痛
- ③ 産褥出血
- (6) 新生児の診察を行い、異常をスクリーニングできる。
 - ① Apgar score
 - ② Silverman score
 - ③ その他の身体所見

2) 婦人科関係

- (1) 女性生殖器の解剖・生理を理解する。
- (2) 女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解する。
- (3) 婦人科の基本的診察法を習得する。
 - ① 問診及び病歴の記載
 - 患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。
 - ② 婦人科の診察
 - 診療に必要な基本的態度・技能を身につける。
 - ③ 婦人科の検査
 - 婦人科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。
- (4) 婦人科手術療法について理解し、経験する。
 - ① 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）手術とその周術期管理
 - 婦人科良性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。
- (5) 婦人科薬物療法について理解する。
 - ① 婦人科感染症の薬物療法
 - 婦人科感染症の薬物療法について理解し実施できる。
 - ② 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）の内分泌療法
 - 婦人科良性腫瘍の内分泌療法について理解し実施できる。
- (6) 婦人科癌の終末期管理ができる。
 - ① 栄養管理…終末期患者の栄養管理が実施できる。
 - ② 疼痛管理…癌性疼痛管理について理解し実施できる。
- (7) 婦人科救急（急性腹症）について理解し、適切なプライマリケアができる。
 - ① 急性腹症の診断
 - 女性の急性腹症を系統的に診断できる。
 - ② 婦人科救急疾患の手術療法
 - 手術に助手として参加し、周術期管理ができる。

Ⅲ. 臨床研修到達目標（選択科目履修8週から12週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医に必要とされる

- 1) 女性特有のプライマリケアを研修する。
- 2) 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。
- 3) 女性特有の疾患による救急医療を経験する。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

1) 産科関係

- (1) 母体、胎児、胎児付属物、産褥、新生児の生理の基本を理解する。
- (2) 産科の基本的診察法を習得する。
 - ① 問診及び病歴の記載
患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。
 - ② 産科の診察
診療に必要な基本的態度・技能を身につける。
- (3) 産科の検査
産科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。
 - ① 妊娠検査
免疫学的妊娠反応
 - ② 超音波検査
 - ③ 分娩監視検査
 - ④ 画像診断（骨盤単純X線検査、骨盤MRI検査）
- (4) 産科の治療法および分娩管理を理解し実施することができる。
 - ① 妊産褥婦に対する薬物療法
妊産褥婦に対する薬物療法について理解し実施できる。
 - ② 分娩管理
分娩管理法について理解し、正常分娩の管理を経験する。
 - ③ 産科手術療法および周術期管理
産科手術法、周術期管理、産科麻酔法について理解する。
- (5) 産科救急疾患について、理解し適切なプライマリケアができる。
 - ① 妊娠初期の出血・腹痛（含む、子宮外妊娠）
 - ② 妊娠中・後期の出血・腹痛
 - ③ 産褥出血
- (6) 新生児の診察を行い、異常をスクリーニングできる。
 - ① Apgar score
 - ② Silverman score
 - ③ その他の身体所見

2) 婦人科関係

- (1) 女性生殖器の解剖・生理を理解する。
- (2) 女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解する。
- (3) 婦人科の基本的診察法を習得する。
 - ① 問診及び病歴の記載
患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。
 - ② 婦人科の診察
診療に必要な基本的態度・技能を身につける。
 - ③ 婦人科の検査
婦人科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。特に婦人科において重要な細胞診、病理組織診、画像診断の基礎を習得する。
- (4) 婦人科手術療法について理解し、経験する。
 - ① 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）手術とその周術期管理
婦人科良性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。
- (5) 婦人科薬物療法について理解する。
 - ① 婦人科感染症の薬物療法
婦人科感染症の薬物療法について理解し実施できる。
 - ② 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）の内分泌療法
婦人科良性腫瘍の内分泌療法について理解し実施できる。
- (6) 婦人科救急（急性腹症）について理解し、適切なプライマリケアができる。
 - ① 急性腹症の診断
女性の急性腹症を系統的に診断できる。
 - ② 婦人科救急疾患の手術療法
手術に助手として参加し、周術期管理ができる。

IV. 臨床研修到達目標（選択科目履修 16 週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医に必要とされる、

- 1) 女性特有のプライマリケアを研修する。
- 2) 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。
- 3) 女性特有の疾患による救急医療を経験する。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

1) 産科関係

- (1) 母体、胎児、胎児付属物、産褥、新生児の生理の基本を理解する。
- (2) 産科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。

② 産科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

(3) 産科の検査

産科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。

① 妊娠検査

免疫学的妊娠反応

② 超音波検査

③ 分娩監視検査

④ 画像診断（骨盤単純X線検査、骨盤MR I 検査）

(4) 産科の治療法および分娩管理を理解し実施することができる。

① 妊産褥婦に対する薬物療法

妊産褥婦に対する薬物療法について理解し実施できる。

② 分娩管理

分娩管理法について理解し、正常分娩の管理を経験する。

③ 産科手術療法および周術期管理

産科手術法、周術期管理、産科麻酔法について理解する。

(5) 産科救急疾患について、理解し適切なプライマリケアができる。

① 妊娠初期の出血・腹痛（含む、子宮外妊娠）

② 妊娠中・後期の出血・腹痛

③ 産褥出血

(6) 新生児の診察を行い、異常をスクリーニングできる。

① Apgar score

② Silverman score

③ その他の身体所見

2) 婦人科関係

(1) 女性生殖器の解剖・生理を理解する。

(2) 女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解する。

(3) 婦人科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。

② 婦人科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

③ 婦人科の検査

婦人科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。特に婦人科において重要な細胞診、病理組織診、画像診断の基礎を習得する。

(4) 婦人科手術療法について理解し、経験する。

① 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）手術とその周術期管理
理婦人科良性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。

② 婦人科悪性腫瘍手術とその周術期管理
婦人科悪性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。

(5) 婦人科薬物療法について理解する。

① 婦人科感染症の薬物療法
婦人科感染症の薬物療法について理解し実施できる。

② 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）の内分泌療法
婦人科良性腫瘍の内分泌療法について理解し実施できる。

③ 内分泌異常（排卵障害・機能性子宮出血など）の内分泌療法について理解できる。

(6) 婦人科癌の終末期管理ができる。

① 栄養管理…終末期患者の栄養管理が実施できる。

② 疼痛管理…癌性疼痛管理について理解し実施できる。

(7) 婦人科救急（急性腹症）について理解し、適切なプライマリケアができる。

① 急性腹症の診断
女性の急性腹症を系統的に診断できる。

② 婦人科救急疾患の手術療法
手術に助手として参加し、周術期管理ができる。

V. 臨床研修到達目標（選択科目履修20週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医に必要とされる、

- 1) 女性特有のプライマリケアを研修する。
- 2) 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。
- 3) 女性特有の疾患による救急医療を経験する。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

1) 産科関係

(1) 母体、胎児、胎児付属物、産褥、新生児の生理の基本を理解する。

(2) 産科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る

る。

② 産科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

(3) 産科の検査

産科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。

① 妊娠検査

免疫学的妊娠反応

② 超音波検査

③ 分娩監視検査

④ 画像診断（骨盤単純X線検査、骨盤MR I 検査）

⑤ 出生前診断（羊水検査）

(4) 産科の治療法および分娩管理を理解し実施することができる。

① 妊産褥婦に対する薬物療法

妊産褥婦に対する薬物療法について理解し実施できる。

② 分娩管理

分娩管理法について理解し、正常分娩の管理を経験する。

③ 産科手術療法および周術期管理

産科手術法、周術期管理、産科麻酔法について理解する。

(5) 産科救急疾患について、理解し適切なプライマリケアができる。

① 妊娠初期の出血・腹痛（含む、子宮外妊娠）

② 妊娠中・後期の出血・腹痛

③ 産褥出血

(6) 合併症妊娠とその管理方法について理解する。

① 糖尿病合併妊娠

② 心疾患合併妊娠

③ その他の合併妊娠

(7) 新生児の診察を行い、異常をスクリーニングできる。

① Apgar score

② Silverman score

③ その他の身体所見

2) 婦人科関係

(1) 女性生殖器の解剖・生理を理解する。

(2) 女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解する。

(3) 婦人科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。

② 婦人科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

③ 婦人科の検査

婦人科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。特に婦人科において重要な細胞診、病理組織診、画像診断の基礎を習得する。

(4) 婦人科手術療法について理解し、経験する。

① 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）手術とその周術期管理

婦人科良性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。

② 婦人科悪性腫瘍手術とその周術期管理

婦人科悪性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。

(5) 婦人科薬物療法について理解する。

① 婦人科感染症の薬物療法

婦人科感染症の薬物療法について理解し実施できる。

② 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）の内分泌療法

婦人科良性腫瘍の内分泌療法について理解し実施できる。

③ 内分泌異常（排卵障害・機能性子宮出血など）の内分泌療法について理解できる。

(6) 婦人科癌の終末期管理ができる。

① 栄養管理…終末期患者の栄養管理が実施できる。

② 疼痛管理…癌性疼痛管理について理解し実施できる。

(7) 婦人科救急（急性腹症）について理解し、適切なプライマリケアができる。

① 急性腹症の診断

女性の急性腹症を系統的に診断できる。

② 婦人科救急疾患の手術療法

手術に助手として参加し、周術期管理ができる。

VI. 臨床研修到達目標（選択科目履修24週）

1. 一般目標（GIO）

一般臨床医に必要とされる、

- 1) 女性特有のプライマリケアを研修する。
- 2) 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。
- 3) 女性特有の疾患による救急医療を経験する。

2. 行動目標（SBO）（経験目標）

1) 産科関係

- (1) 母体、胎児、胎児付属物、産褥、新生児の生理の基本を理解する。

(2)産科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。

② 産科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

(4)産科の検査

産科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。

① 妊娠検査

免疫学的妊娠反応

② 超音波検査

③ 分娩監視検査

④ 画像診断（骨盤単純X線検査、骨盤MR I 検査）

⑤ 出生前診断（羊水検査）

(4)産科の治療法および分娩管理を理解し実施することができる。

① 妊産褥婦に対する薬物療法

妊産褥婦に対する薬物療法について理解し実施できる。

② 分娩管理

分娩管理法について理解し、正常分娩の管理を経験する。

③ 産科手術療法および周術期管理

産科手術法、周術期管理、産科麻酔法について理解する。

(5)産科救急疾患について、理解し適切なプライマリケアができる。

① 妊娠初期の出血・腹痛（含む、子宮外妊娠）

② 妊娠中・後期の出血・腹痛

③ 産褥出血

(6)合併症妊娠とその管理方法について理解する。

① 糖尿病合併妊娠

② 心疾患合併妊娠

③ その他の合併妊娠

(7)新生児の診察を行い、異常をスクリーニングできる。

① Apgar score

② Silverman score

③ その他の身体所見

2)婦人科関係

(1)女性生殖器の解剖・生理を理解する。

(2)女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解する。

(3)婦人科の基本的診察法を習得する。

① 問診及び病歴の記載

患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を聴取し、病歴作成が出来る。

② 婦人科の診察

診療に必要な基本的態度・技能を身につける。

③ 婦人科の検査

婦人科診療に必要な種々の検査を実施あるいは依頼し、その結果を評価して、患者・家族にわかりやすく説明することができる。特に婦人科において重要な細胞診、病理組織診、画像診断の基礎を習得する。

(4) 婦人科手術療法について理解し、経験する。

① 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）手術とその周術期管理

婦人科良性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。

② 婦人科悪性腫瘍手術とその周術期管理

婦人科悪性腫瘍手術へ助手として参加し、その周術期管理ができる。

(5) 婦人科薬物療法について理解する。

① 婦人科感染症の薬物療法

婦人科感染症の薬物療法について理解し実施できる。

② 婦人科良性腫瘍（子宮内膜症を含む）の内分泌療法

婦人科良性腫瘍の内分泌療法について理解し実施できる。

③ 内分泌異常（排卵障害・機能性子宮出血など）の内分泌療法について理解できる。

④ 更年期障害などへのホルモン補充療法について理解できる。

⑤ 婦人科悪性腫瘍の化学療法

婦人科悪性腫瘍の化学療法について理解し、その副作用対策ができる。

(6) 婦人科癌の終末期管理ができる。

① 栄養管理…終末期患者の栄養管理が実施できる。

② 疼痛管理…癌性疼痛管理について理解し実施できる。

(7) 婦人科救急（急性腹症）について理解し、適切なプライマリケアができる。

① 急性腹症の診断

女性の急性腹症を系統的に診断できる。

② 婦人科救急疾患の手術療法

手術に助手として参加し、周術期管理ができる。

(8) 不妊症の検査・治療について理解できる。